

# 本の上の映画館

2

2019 February

 mediaSeven



特集

# 駆け引きのゆくえ

# 特集 駆け引きのゆくえ

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：100名 入場：無料  
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。開場は各日上映時間の30分前です。
- 定員以上の入場はできませんので、ご了承ください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

2月9日(土) 14:00～(上映時間96分)

## 『天使が隣で眠る夜』

賭博師のマルクスは、ヒッチハイクの最中に知り合った純朴な青年ジョニーにつきまとわれる。放浪を続けるうちに親子にも似た関係を築いていく二人。一方、パリで刑事ミッキーのおとり捜査を手伝っていたシモンは、ミッキーが撃たれて植物人間になってしまったことから犯人捜しに乗り出す。

監督・脚本：ジャック・オディアール / 出演：ジャン＝ルイ・トランティニャン、マチュー・カソヴィッツほか / 1994年 / フランス / DVD / 字幕

2月13日(水) 19:00～(上映時間90分)

## 『ブーリン家の姉妹』

イングランド国王ヘンリー8世は世継ぎの男の子が出来ずにいた。宮廷に仕えるブーリン家のメアリーとアン姉妹のうち、メアリーは国王に見初められ愛人となり、子どもを出産。妹のアンは別の女性と婚約している男性との関係を告げ口されたことを逆恨みし、メアリーを蹴落とそうとする。

監督・脚本：フィリッパ・ロウソープ / 出演：ナターシャ・マイケルホーン、ジョディ・メイほか / 2003年 / イギリス / DVD / 字幕

2月16日(土) 14:00～(上映時間118分)

## 『男の争い』

刑務所から帰ってきたトニーは、ギャングの仲間たちと宝石商の金庫破りを計画。入念な準備と作戦によって強奪は成功するが、それを知った敵対勢力はトニーの可愛がっていた少年を誘拐する。男たちの無慈悲な戦いの行方は…。

監督：ジュールス・ダッシン / 出演：ジャン・セルヴェ、ロベール・マニユエルほか / 1955年 / フランス / DVD / 字幕

2月27日(水) 19:00～(上映時間87分)

## 『みじかくも美しく燃え』

夏も終わりに近いスウェーデンの片田舎。妻子ある伯爵のスパレ中尉は、美しいサーカスの娘エルヴィラと駆け落ちする。友人の説得も聞き入れず恋の高揚のままに逃避行を重ねる日々。やがて持ち金も尽き、手配書がいたる所に回る中、ふたりは森の奥へと分け入っていった。

監督・撮影・編集：ボー・ヴィーデルベリ / 出演：ピア・テゲルマルク、トミー・ベルグレンほか / 1967年 / スウェーデン / DVD / 字幕

※「本の上の映画館」1月号でお知らせしておりました『男の争い』の上映日が変更になりました。ご了承ください。

川口市立映像・情報メディアセンター  
メディアセブン

〒332-0015

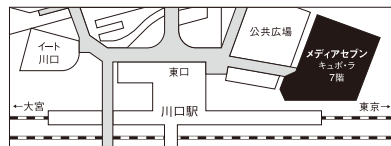
埼玉県川口市川口1-1-1 キュポ・ラ7F

◎開館時間 月～金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00

◎休館日 毎月第3金曜日(機器調整日)、12月29日-1月4日

◎お問い合わせ Tel.048-227-7622 Fax.048-226-7724

◎URL <http://www.mediaseven.jp>



## 錯綜する思惑

今月の本の上の映画館は、駆け引きや思惑がキーワードとなる作品を上映します。

最初は『天使が隣で眠る夜』です。大ベテランのトランティニャンと当時ブレイク寸前のマチュー・カソヴィッツ、新旧の二人の名優の見事なコンビネーションが印象的で、犯罪を扱った映画にも関わらず都会のファンタジーの詩情を滲ませています。何の接点もなかった彼らが、一つの事件をきっかけに点と線で結ばれていく展開をお楽しみください。

次は『ブーリン家の姉妹』。フィリッパ・グレゴリーの同名小説をBBCがドラマ化した、重厚なタッチで展開される愛憎に満ちた文芸ドラマです。国王の寵愛を受けながら、まったく異なる道を歩むことになる美しい姉妹の劇的な人生。一部の特権階級の複雑な人間関係が動いていく、歴史の闇をみせてくれる作品です。

『男の争い』は、オーギュスト・ル・ブルトンの小説を映画化した作品です。裏社会に生きる人物たちの生き様が鮮やかに描かれています。手に汗握る金庫破りのサスペンス、非情な撃ち合いが連鎖するクライマックスは必見です。

最後は『みじかくも美しく燃え』です。1889年、デンマークで起きた実際の事件を描いた悲恋映画の傑作。北欧の自然とヒロインの清新な魅力、そして全編に流れるモーツァルトやヴァイヴァルディの音楽が、この純愛物語の痛ましさをより一層際立たせています。

さまざまな人間関係の中での葛藤や駆け引き。流れゆく時のなかで何かを選ぶことは同時に、何かを失うことでもあります。今月も本の上の映画館をどうぞお楽しみください。

## 3月の上映予定

10日(日) 14:00～『すれ違いのダイアリーズ』

16日(土) 14:00～『兎の眼』

21日(木・祝) 14:00～『チップス先生さようなら』